

主な変更点 (Ver.10 ⇒ Ver.11)

2018.10.24

【入力シート】

1. 主幹動脈の閉塞・狭窄の詳細を追加

① 入力シートの主病名欄の下に「主幹動脈の閉塞・狭窄の詳細」欄を追加。

The screenshot shows the 'Input Sheet' form with a new section for 'Main Artery Occlusion/Narrowing Details' (主幹動脈閉塞・狭窄の詳細) added below the main diagnosis field. A callout box labeled '追加' (Add) points to this new section. The form includes fields for patient name, sex, age, and various medical conditions.

② 選択肢として「内頸動脈、中大脳動脈、椎骨脳底動脈」を設け、これ以外の動脈については直接入力する。

③ この欄はラクナ梗塞 (BAD も含む) 以外の脳梗塞の場合に入力するものとする。

④ この入力内容は基本情報用紙の「その他の詳細」欄に反映する。

2. NIHSS 欄の選択肢に「不明」を追加。

3. 薬物対照表の商品名のうち、2 剤 (ジルペンダー、オグザロット) を削除

【基本情報用紙】

1. 主病名がくも膜下出血, その他の脳内出血の場合、入力シートの各詳細に記載した内容が「その他の詳細」に表示されないエラーを修正

【要約用紙】

1. 「搬送手段」の選択肢として「院内発症」を追加。

【地域連携診療計画書】

1. 医療機関名に保険医療機関コードを付記

The screenshot shows the 'Regional Collaboration Treatment Plan' form. It includes fields for patient name, sex, and diagnosis. The hospital name field is highlighted with a red box, showing '急性期病院 (公立能登総合病院 (0211242))' and '回復期病院 (恵寿総合病院 (0210319))'. The form also includes a section for '搬送手段' (Transportation Method) with options for '院内発症' (In-hospital onset).

2. 食事欄を一部修正

急性期全体を通じて、①飲食できません、②嚥下状態に応じた食事提供、③経管栄養になります、の3つの選択肢より選択するようにした。

The screenshot shows the 'Diet' section of the form. It includes three main options: '飲食できません' (Cannot eat), '嚥下状態に応じた食事提供' (Diet provided according to swallowing status), and '経管栄養となります' (Enteral nutrition). The form also includes checkboxes for '食事が開始されます' (Diet starts), '経管栄養となります' (Enteral nutrition), '通常の食事となります' (Normal diet), '治療食となります' (Therapeutic diet), and '経管栄養となります' (Enteral nutrition).



The screenshot shows the updated 'Diet' section of the form. It includes three main options: '飲食できません' (Cannot eat), '嚥下状態に応じた食事提供' (Diet provided according to swallowing status), and '経管栄養となります' (Enteral nutrition). The form also includes checkboxes for '食事が開始されます' (Diet starts), '経管栄養となります' (Enteral nutrition), '通常の食事となります' (Normal diet), '治療食となります' (Therapeutic diet), and '経管栄養となります' (Enteral nutrition).

3. 薬物対照表の商品名のうち、2 剤 (ジルペンダー、オグザロット) を削除

【誤入力防止対策】

発症日、入院日、退院日における日付の誤入力（例として、入院期間がマイナスとなる、201/1/3 など日付形式の誤入力）を防止する対策として、以下のことを実施する。

対策1)

- ① 基本情報用紙の直接入力欄以外への誤入力防止のためシート保護（パスワードなし）をかけた。
- ② 直接入力欄以外への入力時、エラーメッセージで知らせる。

基本情報用紙 能登脳卒中地域連携パス ver.11.0 登録開始情報

コード	氏名	様	性別	生年月日	年齢	歳
住所			電話			
発症日			脳卒中の既往	()		
主病名	その他の詳細		皮膚			
家族状況	介護者	本人との関係	加療中疾患	<input type="checkbox"/> 不整脈・弁膜症	<input type="checkbox"/> 脂質異常症	
	介護力	条件	<input type="checkbox"/> 褥瘡	<input type="checkbox"/> 肺炎	<input type="checkbox"/> 虚血性心疾患	
	キーパーソン(実名)	本人との関係	電話	<input type="checkbox"/> 尿路感染症		

Microsoft Excel

変更しようとしているセルやグラフは保護されているシート上にあります。
変更するには、[校閲] タブの [シート保護の解除] をクリックします。(パスワードの入力が必要な場合もあります)。

OK

対策2)

- ① 入力シートの発症日、急性期および回復期の入院日、退院日への不正な日付形式入力防止のため入力規制をかけた。
- ② 不正日付入力時、エラーメッセージで知らせる。

関係	健康状態	入院日	<input type="checkbox"/> 高血圧	<input type="checkbox"/> 糖尿病
本人との関係	本人との関係	急性期(終了時)	<input type="checkbox"/> 脈弁膜症	<input type="checkbox"/> 肺炎
201/1/6	~	~	生活	
() 科)	() 科)	主治医		

入力注意

入力された日付が不正です。
ご確認ください。

再試行(R) キャンセル ヘルプ(H)

この情報は役に立ちましたか?

対策3)

- ① 基本情報用紙の急性期および回復期の入院期間がマイナスとなった場合、「急性期(終了時)」、「回復期(終了時)」のタイトル欄が「入院期間、日付入力不正。日付を確認！」のエラーメッセージとなる。

本人との関係	電話
入院期間、日付入力不正。 日付を確認！	回復期(終了時)
2018/10/04 ~ 2018/09/06	~
施設名)	